

## \* WMFT マニュアル \*

- 評価の机は高さ 70 cm に設定する。
- 被検者の長袖を着ている場合は、上腕部まで袖をまくる。
- 健側で set position を設定し、麻痺側で課題を実施する。
  - 横向き座位は②の課題で腕を置いたときに肩関節が 90° 以上屈曲しない位置に設定する。
  - 前向き座位は⑥の課題で箱の上に手掌面のみ(手関節より抹消)がのる位置に設定する。
- 足底が床に接地した肢位で実施する。
- 『できるだけ 右 or 左 (麻痺側) で行って下さい。どうしてもできない場合には (健側) で麻痺側を助けても良いので実施して下さい。健側で実施してはダメですよ ♥』
- 実施方法を口頭で説明した後にデモンストレーションを行う(各課題 2 回まで)。課題の説明を 2 回行うが、注意が向いていなければ 3 回目を行う。※理解が不可であれば 120.0 秒とする。
- 全ての課題はできるだけ速く行ってもらうように促す。
- 「よーい、どん」の掛け声で計測を開始する。フライングした場合は、やり直しをする。
- 被検者が課題遂行中、10 秒に 1 回のペースで「あきらめないで、いいですね、がんばって」と単調なトーンで声かけをする。
- 評価者が計測を誤った場合は、やり直す。

### ■各課題でのポイント：番号は課題に対応■

- ③・④：対側の赤線(40 cm line)に母指が到達するまで計測をする。
- ⑥：箱に手を置くことができればよいため、保持できなくてもよい。
- ⑦：前腕中間位及び母指を天井に向けた肢位で課題を開始する。
- ⑧：缶を側方から把持するように教示する。
- ⑨・⑩：物品が机から完全に離れた時点で計測を終了する。
- ⑪：中央に設置したブロックに、左右のブロックを一つずつ重ねるように指示をする。
- ⑫：トランプを枠の中に収めなくてよい。
- ⑬：鍵を左右に回した時点で計測を終了する。
- ⑭：両手で手前に半分折り、麻痺側で内転方向へさらに半分折る。
- ⑮：足の踏み替えと体幹の回旋をしないよう説明し実施する。